



1

2013 JANUARY

あなたと町を結ぶ広報

なみえ

- ② 新年のあいさつ
- ④ みんなでともに乗り越えよう
- ⑥ なみえのあの店この店
- ⑩ なみえの“しゃべり場”・集まっ会
- ⑬ 学校だより
- ⑭ まちの話題
- ⑯ 情報ぴっくあっぷ
- ⑰ 浪江のこころ通信
- ⑳ 連絡先一覧・空間放射線量測定結果



ホームページやフェイスブックは、
携帯からもご覧いただけます。
QRコードをご利用ください。

平成25年1月 No.564

毎月1回1日発行

今月の表紙

大堀の神楽 (11月23日・復興なみえ町十日市祭にて)



巳年新年賀謹



浪江町長
馬場有

日々新たに また日新たに



被災地を離れて、二度目のお正月を迎えました。それぞれ皆さまには住み慣れた家（故郷）を思い出している新年ではないかと拝察いたします。あの震災・原発事故が無ければ正月は普段、一家団らん家族が集まり顔を見ながらゆつくりと語りあう時間を持つ日々ではなかったのかと避難先からしみじみと思います。

昨年は町として賠償・除染・健康管理と医療保障の充実を国、東電に強く要求してまいりました。本年はこれらの未課題解決にむけて邁進してまいります。また、全国各地での住民説明会において皆さまから貴重なご意見・ご提案を拝聴することができました。これらを無にすることなく、可能な限り実現化に向けて施策に反映したいと考えています。

特に、「町民の暮らしの再建」では、

財物賠償の拡充化要求をすまいります。また、精神的損害賠償について増額要求し、町が代理人となり原発ADR（原子力損害賠償紛争解決センター）へ申し立てをしたと考えております。さらに、県内外に避難する子どもたちの絆、町民同志の絆を強化します。「町外コミュニティの整備」では、居住希望規模により受け入れ先自治体と協議し、できうる限り早く条件整備し、災害公営住宅の建設に着手してまいります。

「ふるさとの再生」では、本格除染に着手するとともに、浪江町内に復興拠点を置き、本格的に復旧を開始します。いずれの施策も暗闇の手探りからありますが、一筋の光を求め強力に推進します。

さて、町民の皆さまには苦しい、つらい日が続いておりますが暮らし方

一工夫し、視点を変えて前に一歩進める気持ちで、困難を克服していただきたいと念願しております。参考に私が最近読んだ書物を引用します。

「自然の世界は毎日が新しい。・・・同じ庭であるにもかかわらず、日によって全く違う姿を見せてくれる。晴れの日と雨の日では違うし、落ち葉の数も日によって変わる。同じ庭は一日たりともありません。・・・日々新たに、また日新たに。」人間も同じです。今日のこととは今日で終わり、明日はまた新しい自分が生まれてくる。」と、参考になれば望外の幸福です。結びになりますが、寒い日が続きます。何卒ご自愛いただき、今年一年が皆さまにとりまして幸多い年となりますようご祈念し、新年のご挨拶とします。

新年を迎えて



浪江町議会議長
吉田数博

新春とは名ばかり、と感じる心寂しい2回目の正月を迎えました。故郷を離れて新春を迎えられた皆さま方のお心はいかばかりかと拝察いたします。昨年は復興元年と位置づけられ、除染、賠償、健康管理を最重要課題として取り組んでまいりましたが、国、県、東電の対応はスピード感がなく被災者の立場に立ったものとなっていないと感じており残念に思います。

町においては、復興計画が策定され町再生に向けてスタートいたしました。絵に描いた餅にならないためもしっかり取り組む必要があります。歴史、文化、産業を含め継いだ責任、引き継ぐ責任を果たす重大な責務を感じております。

昨年議会の事故対応

については、議会報等でお知らせしておりますが、特に、町民との懇談会を開催し、県内外53会場において2265名の参加をいただき意見集約を行い、国、県、東電等に要請・要求活動をして参りました。また、議員の定数も次回選挙から4名削減とすること、議員報酬の25%削減を任期中継続すること等を決定いたしました。

当面、除染、賠償、健康管理、町外コミュニティの早期対策、高速道無料化の延長、医療費の一部負担金免除、保険料等の減免措置の継続、復旧復興に向けた自治体に対する支援強化等々数限りない課題がありますが、町ともども全力で取り組んでまいります。

今後警戒区域の見直しが行わ

れると除染が開始され復旧復興が始まりますが、反面課題も発生します。密接な関係にある賠償問題、防犯防災対策、道路網の整備（道路の補修、除草、ガレキの撤去等を含む）、生活由来ごみの処理対策等々であります。万全な体制を求め等しつかりと対応して参ります。

心の痛む日々が続きますが、請戸小の黒板に自衛隊員が書き残した言葉があります。

『天は乗り越えられる
試練しか与えない。』

がんばれ 浪江町！
大きな夢や希望は持ちづらい日々ですが、あきらめない気持ちを大切に絆を深め、故郷なみえの再生をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

浪江町議会議員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|
| 馬場 | 佐々木 | 三瓶 | 勝山 | 小黒 | 佐々木 | 紺野 | 佐藤 | 鈴木 | 渡部 | 田尻 | 橋爪 | 泉田 | 横山 | 若月 | 山本 | 山崎 | 愛澤 |
| 績夫 | 英次 | 寶次 | 一美 | 敬三 | 恵三 | 榮重 | 文子 | 辰行 | 貞信 | 良作 | 光雄 | 重章 | 精一 | 芳則 | 幸一郎 | 博文 | 格 |

町外コミュニティの方向

町では、当面続く不便な避難生活を改善し、町民の方々の絆を保っていくため、町外における生活拠点（町外コミュニティ）の整備を予定しています。

町外コミュニティの整備にあたっては、国、県、受入自治体等と協議し、県営住宅を中心として整備を進めていく予定となっています。

今回は、現段階で町が考えている町外コミュニティのイメージをお知らせします。

※内容は正式決定ではありません。今後皆さまからの要望などにより変更されることがあることをご了承ください。

▷整備予定箇所

いわき市・南相馬市・二本松市の3市を主に想定しています。また、町外コミュニティ以外にもニーズの高い市町村に県営住宅等の整備を求めていく予定です。

▷整備時期

平成26年度から順次入居開始できるよう国や県と協議中です。

▷整備するもの

●**県営での災害公営住宅（復興公営住宅）を整備予定です。**

●構造

主に集合住宅タイプが想定されます。
※ニーズに応じ大家族向けの住戸や高齢者向住宅の整備も検討しています。

●規模

ひとつの自治体の中で極力住宅が分散しないよう整備を求めていく方針です。

●家賃

現在の制度では、家賃が発生しますが、仮設住宅や借上げ住宅と不平等にならない措置を国に要望しています。

●交流の場（集会所など）

コミュニティごとに、浪江町民の集いの場の整備をする予定です。

●役場機能

二本松市は現在の役場での対応を継続し、南相馬市・いわき市は出張所の継続をしていく考えです。

●その他

地域の理解のもと、浪江町内の商工業者が営業できる環境、就労の場、診療所、福祉施設等の整備についても検討しています。

ニーズ把握のため1月中旬に今後の住まいに関する「住民意向調査」を実施しますので、皆さまのご協力をお願いします。

☎復興推進課まちづくり整備係

☎0243-62-4731

内部被ばく検査

町民の安全・安心と将来の健康管理を確保するため、全町民を対象に内部被ばく検査（ホールボディカウンター）を実施しています。

一度も受診されていない方の受診をおすすめします。

▷**検査対象** 全町民

▷**実施場所** 浪江町仮設診療所となり
(安達運動場仮設住宅敷地内)

※このほか、南相馬市、石川郡平田村、新潟県新潟市、茨城県東海村でも受診できます。

▷**申し込み受付** 随時受け付けています。

申し込み順にご案内します。

▷**検査日** 月～金曜日（祝日、年末年始を除く）

▷**申し込み方法**

申込書を記入の上、担当係までFAXまたは郵送でお申し込みください。

申込書が必要な方は、ご連絡ください。（町ホームページからもダウンロードできます。）

☎健康保険課放射線健康管理係

☎0243-62-0173 ☎0243-22-4263

甲状腺検査

町では、甲状腺検査を実施しています。検査をご希望の方は、対象年齢を確認の上、お申し込みください。

▷**対象者** 浪江町に住所を有し、平成23年3月11日時点で19歳から40歳までの方

▷**実施場所** ひらた中央病院
(福島県石川郡平田村大字上蓬田字清水内4)

▷**検査費用** 無料

▷**検査内容** 超音波検査

▷**申し込み受付** 随時受付しています。
受け付け順にご案内します。

▷**申し込み方法**

甲状腺検査申込書を記入の上、仮設津島診療所または役場（健康保険課）に提出してください。検査日は、後日連絡します。

※申込受付事務は、仮設津島診療所のみとなりますので、直接ひらた中央病院には送らないでください。

☎浪江町国民健康保険仮設津島診療所

〒969-1404 二本松市油井字長谷堂230

☎0243-24-1431

「住民意向調査」にご協力ください

今後の住まいに関する住民意向調査を1月中旬に実施する予定となっています。

調査結果は、「被災者の方々の生活改善のための施策」や「町外コミュニティの整備（復興公営住宅の整備戸数）」に活かされますので、皆さまのご協力をお願いします。

▷**調査目的**

●避難期間中の生活環境の整備

●今後の住宅、町外コミュニティ等のニーズ把握

▷**実施主体** 浪江町・福島県・国（復興庁）

▷**調査対象** 平成24年4月1日時点で15歳以上（中学生を除く）の浪江町民約18,000人

▷**調査方法** 郵送によるアンケート方式

▷**実施期間** 1月中旬を予定

▷**結果の公表** 2月下旬ごろを目途に公表予定。

☎復興推進課復興企画係 ☎0243-62-4731

みんなで ともに 乗り越えよう

下水道管被害調査

浪江町公共下水道区域および農業集落排水区域の被害調査を実施します。

調査のため私有地内立ち入らせていただくことがありますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

なお、調査員は身分証明書を携帯しています。

▷**調査期間** 2月まで

▷**調査業者**

●幾世橋地区 ●権現堂地区 (国道14号より北側)	(有)浪江コンサルタント 浪江町大字北幾世橋字内匠町6 二本松市槻木81-4 ☎0243-62-1833
●権現堂地区 (上記以外) ●牛渡地区 (JR線より東側)	(有)中西測量設計 浪江町大字権現堂字下柳町8-5 二本松市金色412-12 ☎0243-24-1911
●川添・樋渡・牛渡地区 (JR線より西側)	(株)福建コンサルタント 南相馬市原町区日の出町528 ☎0244-24-1311
●高瀬地区	(有)石田測量設計事務所 浪江町大字小野田字堂東45 南相馬市原町区旭町4-20-3 ☎080-6022-2686

☎復旧事業課上下水道係 ☎0243-62-4732

津波被災地の集団移転に関するアンケートのお願い

浪江町では、津波で被災された世帯を対象としてアンケートを実施しています。（12月下旬発送予定）

▷**調査対象** 津波で被災された世帯

▷**調査目的**

津波で被災された方々の現時点での帰還の意思やお考えになっている移転先等を調査することで、国の復興交付金を活用した災害公営住宅の整備、集団移転の方向性を確認するものです。

▷**調査方法** 郵送によるアンケート方式

※アンケートではできる限りお名前を記入していただくこととなっていますので、ご協力よろしくお願いします。

▷**回答期限** 1月7日(月)

▷**その他**

●このアンケートは、震災前の世帯主の方宛てに送付しています。なお、津波により被災したにもかかわらず本アンケートが届かない方は、お手数ですがご連絡ください。

●アンケートの結果は、広報紙、町ホームページ等でお知らせします。

☎復興推進課まちづくり整備係

☎0243-62-4731

昨年11月、浪江町復興計画第一次が策定され、復興へ向けて新たに歩み始めました。

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、警戒区域の見直し、インフラの復旧、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。その中で、計画を実現していくために、町がどのような取り組みをしているのかお知らせします。

浪江町の除染実施計画

平成24年11月21日、環境省から「特別地域内除染実施計画（浪江町）」が公表されました。

実施計画では、当面の実施対象期間を平成26年3月末までとし、目標や除染の対象、スケジュールなどが示されています。

詳細は、環境省ホームページから確認することができます。
[URL http://josen.env.go.jp/](http://josen.env.go.jp/)

食品の放射能簡易分析結果

町では、食品中の放射性物質を図る測定器を配備し、さまざまな食品等の安全安心のため放射性物質測定を実施しています。

■11月の分析結果

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	21	0	
果実	10	3	キュウイ、栗、蜂蜜
魚	10	1	スズキ
山菜、きのこ類	8	6	まつたけ、いのはな、しいたけ
米（新米）	4	0	
その他	4	1	ヤマドリ肉
水（井戸水、湧き水等）	1	0	10ベクレル/kg以上
合計	58	11	

●食品衛生法における一般食品基準値
セシウム：100ベクレル（セシウム134、セシウム137の合算値）
●食品衛生法における飲用水基準値
セシウム：10ベクレル（セシウム134、セシウム137の合算値）
※一部計画的避難区域のものも含む。 ※警戒区域のものは除く。

食品の簡易測定は、随時受付しています。ご希望の方は、お問い合わせください。

申・☎上竹倉庫事務所 ☎0243-23-4774

警戒区域内の水の汚染状況検査結果

警戒区域内の水の汚染状況検査結果をお知らせします。

区分	検査月	採取地	検査結果
原水	11月	小野田取水場	不検出
		苧野取水場	不検出
		谷津田取水場	不検出
		大堀取水場	不検出
井戸水	11月	権現堂	不検出
		川添	不検出
		谷津田	不検出
河川流水	11月	大堀取水場	不検出
		やな場付近	不検出

☎災害対策課放射線対策係 ☎0243-62-0152

<p>床屋なみえ 二本松店 〒969-1404 福島県二本松市油井字長谷堂230 安達運動場仮設店舗 ヘアサロンさんべい (木～日曜日) 三瓶 友一 ☎090-7566-6659 サトウ理容 (火・水曜日) 佐藤 女枝 ☎080-6013-5932</p>	<p>なみえ美容 福島店 大島 信司 〒960-0231 福島県福島市飯坂町平野字早川原20-1 北幹線第一仮設内 ビューティサロン ちどり ☎090-8924-1801 ☎090-1490-8998 ふたば美容室 ☎080-1812-0355 ビューティサロン 中里 ☎090-7662-0592</p>	<p>なみえ美容 二本松店 大島 信司 〒969-1404 福島県二本松市油井字長谷堂230 安達運動場仮設内 ビューティサロン ちどり ☎090-8924-1801 ☎090-1490-8998 ビューティサロン 中里 ☎090-7662-0592 美容室ローズ ☎090-2985-4599</p>
<p>床屋なみえ 福島店 〒960-0231 福島県福島市飯坂町平野字早川原20-1 北幹線第一仮設内 パーパー髪鉄2号店 小川 昌幸 ☎080-5225-1288</p>	<p>サトウ理容 佐藤 勝利 〒963-7731 福島県田村郡三春町大字下舞木字追越145-2 ☎080-3191-4963</p>	<p>フォトスタジオ デイズ 志賀 大 〒970-8045 福島県いわき市郷ヶ丘2丁目117-12 ☎0246-38-9654</p>
<p>ヘアサロン ウィング ゴルフメンテナンスショップ ヘブン 下平 篤生 〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字東18 ☎024-933-8288</p>	<p>フィットネスクラブ カーブス二本松店 松原 茂 〒969-1404 福島県二本松市油井字中田1-1 コープあだたら2F ☎0243-23-2988</p>	<p>美容室わたなべ 渡部 邦子 〒975-0006 福島県南相馬市原町区橋本町2丁目58-5 ☎090-8613-5386</p>
<p>(有)双相スポーツボウリング 鏡石事業所空港ボウル 柳沼 俊成 〒969-0401 福島県岩瀬郡鏡石町鏡沼216 空港ボウル ☎0248-62-4142</p>	<p>メナードフェイシャルサロン マイトリムロード 木幡サチ子 〒283-0802 千葉県東金市東金916-16 ☎090-6625-8762</p>	<p>ホテル なみえ 前司 昭一 〒970-8026 福島県いわき市平南町63 ☎0246-24-2555</p>
<p>報徳観光ホットツアーサービス 大波 大久 〒970-8045 福島県いわき市郷ヶ丘1丁目38-1 半沢様方 ☎090-1066-8601</p>	<p>(株)アスカビルサービス 石田 広栄 〒143-0013 東京都大田区大森南2-25-19</p>	<p>吉田司法書士事務所 吉田 和雄 〒964-0906 福島県二本松市若宮2丁目152-12 ☎090-7799-9354</p>
<p>サンブラザ観光 ふねひきパーク店 先崎教一郎 〒963-4312 福島県田村市船引町船引字原田9 ショッピングセンターふねひきパーク2F ☎0247-73-8097 ☎0247-73-8098</p>	<p>東京海上日動TPコスモス 松下 徳弘 〒135-0062 東京都江東区東雲1-9-9 1514 ☎03-5534-9262</p>	<p>(有)伸道商事運輸 高木 徳行 〒969-1107 福島県本宮市青田字戸ノ内28-5 ☎0243-63-0212</p>
<p>トータルコンピュータサービス 大江 実 〒391-0011 長野県茅野市玉川4562-1 パーチェ長峰103 ☎090-8785-1703 ☎020-4665-0076</p>	<p>(株)双葉不動産 石田 全史 〒963-8004 福島県郡山市中町12-2 ☎024-983-4778 ☎024-983-4779</p>	<p>(有)中西測量設計 中西總一郎 〒964-0915 福島県二本松市金色412-12 ☎0243-24-1911</p>
<p>猪狩エステート 猪狩 雅勇 〒964-0904 福島県二本松市郭内1丁目9-1 ドリーミー B号室 ☎090-3754-9876</p>	<p>(有)秀崇 百川 秀彦 〒979-0404 福島県双葉郡広野町大字折木字関の上21 ☎0240-27-2677 ☎0240-27-2688</p>	<p>八島運送(有) 林 茂 〒960-0113 福島県福島市北矢野目坂東13-3 フレッシュタウン内 ☎024-552-6155</p>
<p>浪江貨物自動車(株) 渡邊 秀昭 〒960-1108 福島県福島市成川字上谷地30 ☎024-545-7711</p>	<p>(有)横山物産 横山 秀明 〒960-2155 福島県福島市上倉字下田54 ☎024-573-1777</p>	<p>東北エックス線(株) 若林 正清 〒960-8035 福島県福島市本町2-8 リード本町ビル3階 ☎024-524-0228</p>
<p>(株)双葉ホンダモーターズ 伊藤 公明 〒962-0001 福島県須賀川市森宿字向日向29番地 (ホンダカーズ須賀川森宿店内) ☎0248-72-0228 ☎0248-72-0280</p>	<p>土地家屋調査士・行政書士 佐々木啓事務所 佐々木 啓 〒975-0037 福島県南相馬市原町区北原字大塚25番地2 ☎0244-26-9915</p>	<p>あさだ衣裳店 朝田 宗弘 〒975-0037 福島県南相馬市原町区北原大塚179-3 ☎0244-22-6055</p>
<p>アクサ生命保険(株)相双営業所 竹島 盛雄 〒975-0006 福島県南相馬市原町区橋本町1-35 原町商工会議所会館 2階 ☎0244-24-3480</p>	<p>(株)まるあい 金澤 文隆 〒960-2101 福島県福島市さくら2-8-14 オリゾンB-201 ☎024-573-5571 ☎090-2847-5907</p>	<p>(有)浪江コンサルタント 泉田和久代 〒964-0875 福島県二本松市槻木81-4 ☎0243-62-1833</p>

あの店 この店

震災後、町内の100を超える企業・店舗の皆さんが各地で事業を再開しています。ふるさとを離れ、ふるさとを想いながら避難先であたにスタートした企業・店舗の皆さんを応援してください。

※掲載確認がとれた企業・店舗のみ掲載しています。
※各企業・店舗の希望により、掲載内容が異なります。

掲載ご希望の企業・店舗の方は、ご連絡ください

☎復興推進課情報統計係 ☎0243-62-4731

<p>味感さとう 湯本店 佐藤 千恵 〒972-8321 福島県いわき市常磐湯本町吹谷83 ☎0246-43-5847</p>	<p>食楽酒房 スプーン 境 和彦 〒970-8026 福島県いわき市平字大工町10-1 永島ビル1F-3 ☎0246-38-7795</p>	<p>(有)杉乃家 芹川 輝男 〒964-0917 福島県二本松市本町2-3-1 二本松市民交流センター内 ☎0243-24-1215</p>
<p>居酒屋 こんどこそ 大清水タミ子 〒964-0917 福島県二本松市本町2-200 ☎0243-22-4315</p>	<p>なみえ焼そば スラッカン (移動・出張販売) 菅野 典男 〒960-8057 福島県福島市笹木野字大金谷60-1 ベルコーボ吾妻C-203 ☎090-2750-1027</p>	<p>スパゲッティの店 伊太利庵 大槻 政彦 〒969-1511 福島県二本松市下川崎字上平33-1 道の駅「安達」内 ☎0243-61-3100</p>
<p>キッチンなみえ 丸福 高橋 昭太郎 (ケイタリングカー) 〒992-1205 山形県米沢市大字関根14894-4 (福島市出張所) 〒960-0211 福島県福島市飯坂町湯野暮坪前4 ☎090-4479-2514</p>	<p>焼肉居酒屋 粹家 中野 春子 〒970-8026 福島県いわき市平字三丁目36番地の4 銀座930ビル3階 ☎0246-24-9200</p>	<p>宝来軒 (ケイタリングカー) 石沢 茂 〒969-1142 福島県本宮市本宮字兼谷平121-2 ☎090-6621-6767</p>
<p>おうちカフェ凜 川島 美幸 〒960-0201 福島県福島市飯坂町月崎町12-6 ☎090-7337-2532</p>	<p>中華料理タロー 佐藤 勝美 〒975-0001 福島県南相馬市原町区大町2-132</p>	<p>居酒屋 うまいもん 斉藤 博重 〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-12-6 歌舞伎町ビル1階 ☎090-1465-1038</p>
<p>(株)協和マイクロ 長岡 隆 〒973-8411 福島県いわき市小島町2-3-7 ☎0246-27-4750 ☎0246-27-1122</p>	<p>二代目 寿し松 松本 清治 〒305-0817 茨城県つくば市研究学園C-30 街区15 エビスタウンB-101 ☎029-875-7575</p>	<p>(有)グルメフーズ 松原 昭 〒963-4312 福島県田村市船引町船引字原田9 ショッピングセンターふねひきパーク2F ☎0247-73-8146</p>
<p>(株)ナプロフクシマ 池本 篤 〒960-0719 福島県伊達市梁川町やながわ工業団地63番1 ☎0245-73-8091</p>	<p>酒のしのぶや 平店 佐藤 榮佑 〒970-8022 福島県いわき市平塩字風内105 ☎0246-22-5088</p>	<p>常磐菱農(株) 高野 一英 〒975-0038 福島県南相馬市原町区日の出町189-1 ☎090-6459-9757</p>
<p>(有)かまいり茶本舗 野沢 孝一 〒964-0887 福島県二本松市三保内72-1-6-4 ☎090-4638-1403</p>	<p>富沢酒店 木幡 武子 〒326-0846 栃木県足利市山下町2459 レジデンスシュドー 402 ☎0284-64-7475</p>	<p>(有)コスモス 松原 和美 〒963-4312 福島県田村市船引町船引字原田9 ショッピングセンターふねひきパーク2F ☎0247-73-8146</p>
<p>(株)葉屋 叶 経道 〒989-0916 宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉鬼石原1-371-706 ☎0224-34-2301</p>	<p>パソコンプラザSAKAI 酒井 久寿 〒960-0231 福島県福島市飯坂町平野字早川原20-1 A4-1 ☎090-7524-1062</p>	<p>工房ふく福 三浦 幸子 〒960-8031 福島県福島市栄町11-25 AXC2階 ☎080-5577-6088</p>
<p>ほていや書店 蒔田 靖 〒963-8017 福島県郡山市長者2-9-14-705 ☎024-983-7979</p>	<p>(株)マツバヤ 松原 茂 〒963-4312 福島県田村市船引町船引字原田9 ショッピングセンターふねひきパーク2F ☎0247-73-8146</p>	<p>ローソン 名取関上店 渡辺 京子 〒981-1213 宮城県名取市関上昭和4-1 ☎022-385-3955</p>
<p>井戸川商店 井戸川正伸</p>	<p>セブンイレブン 川俣町仮設店舗 佐藤 孝一 〒960-1406 福島県伊達郡川俣町鶴沢字学校前7 ☎024-565-3071</p>	<p>きよはし薬局 濱田 博夫・佐藤 伸哉 〒963-7769 福島県田村郡三春町担橋2-1-5 ☎0247-61-1101</p>
<p>ポーラ化粧品RITZ (リッツ) 板倉佳代子 〒970-8047 福島県いわき市中央台高久4丁目14-1 ☎0246-38-9775 ☎080-5557-9431</p>	<p>(株)木場商店 木場 智久 東京都墨田区立川 ☎03-6659-4074 ☎03-6659-4075</p>	

<p>豊工業(株) 岩野 廣秀 〒979-0021 福島県相馬市原釜字札ノ沢67 ☎0244-26-8081</p>	<p>(有)木幡ポーリング工業所 木幡 民男 〒964-0911 福島県二本松市亀谷2-170-14 いとうハイツ101号室 ☎090-1493-7326</p>	<p>平成建設(株) 山本 博美 〒964-0901 福島県二本松市表2丁目777 ユーミーワタナベ305 ☎090-5599-9761</p>
<p>(有)グランツ 田河 晴幸 〒964-0203 福島県二本松市木幡字問屋306 ☎0243-46-4646</p>	<p>(株)小黒設備工業 小黒 陽子 〒964-0915 福島県二本松市金色406-13 ☎0243-24-1278</p>	<p>横山建設(株) 横山 佳弘 〒975-0004 福島県南相馬市原町区旭町 2丁目34 モ・オフィス203号室 ☎0244-26-9570</p>
<p>鈴木工務店 鈴木 勝成 〒964-0913 福島県二本松市茶園2丁目 254-4 石井住宅 ☎090-6251-7822</p>	<p>横山土木工業 横山 忠志 〒964-0873 福島県二本松市東裏113-4 ☎090-8925-1914 ☎0243-24-1191</p>	<p>渡辺政雄家具店 渡邊 泰彦 〒964-0005 福島県二本松市笹屋235-1 ☎0243-22-8123 ☎0243-24-1814 E inf@kagutategu.com</p>
<p>マイティビルド(株) 松川 光宏 〒960-0241 福島県福島市笹谷字桜水15-6 ☎024-573-2860</p>	<p>(株)泉田組 岡和田 薫 〒975-0061 福島県南相馬市原町区大木戸字北西原48-1 ☎0244-26-8856</p>	<p>東北工業建設(株) 福島事務所 戸川 聡 〒960-8252 福島県福島市御山字検田58-1 ☎024-573-4127 ☎024-573-4128</p>
<p>(有)奥山木工 奥山 和裕 南相馬事務所・工場 〒975-0062 福島県南相馬市原町区本陣前2-15-1 ☎0244-26-3747 いわき事務所 〒970-8026 福島県いわき市平字新川町36-12 ンティハウス新川町205号 ☎0246-38-9391</p>	<p>(株)インテリアしんがい 新谷 保基 南相馬事務所 〒975-0037 福島県南相馬市原町区北原字大塚25-2 ☎090-8784-7622 いわき事務所 〒971-8188 福島県いわき市泉もえぎ台1-6-1 ☎090-8784-7622</p>	<p>(株)西内石材 西内 久志 〒960-8141 福島県福島市渡利字岩崎町131-3-2 ☎090-3128-9457</p>
<p>(有)蒲生電気工業所 蒲生 秀夫 〒960-8074 福島県福島市西中央1-59 リパティハイム西中央B102 ☎090-2798-2076</p>	<p>志賀電設 志賀 好 〒975-0026 福島県南相馬市原町区上高平字宮前114 ☎0244-25-2300 ☎0244-25-2305</p>	<p>双葉グリーン土木(株) 室原 泰二 〒975-0036 福島県南相馬市原町区菅浜字巢掛場5番地 ☎0244-26-8218</p>
<p>(株)ウエダ建設 南相馬事務所 植田 昭好 〒975-0037 福島県南相馬市原町区北原 字大塚25-1 北原仮設事務所B-5 ☎0244-26-9218</p>	<p>(有)山田電気工事 山田 義己 〒975-0037 福島県南相馬市原町区北原字大塚25-2 ☎090-3646-6195</p>	<p>阿部建設株式会社 阿部 衛人 〒975-0037 福島県南相馬市原町区北原字大塚25-2 ☎090-9638-3296</p>
<p>(株)ナミエ設備 鈴木 貞夫 〒975-0037 福島県南相馬市原町区北原字大塚25-2 ☎090-3759-5077</p>	<p>相双電気(株) 阿部 展才 〒975-0018 福島県南相馬市原町区北町 161-2 北町エイトハイツ8号室 ☎0244-26-3562</p>	<p>双葉不動産建設(株) 石田 慎一 〒963-8023 福島県郡山市緑町3-10 ☎024-983-4851 ☎024-983-4853</p>
<p>(有)山ペン塗装 山本藤次郎 〒975-0003 福島県南相馬市原町区栄町3丁目159 ☎0244-24-3558 ☎0244-24-3558</p>	<p>(株)佐藤商事建設 佐藤 浩宗 〒975-0052 福島県南相馬市原町区中太 田字後迫284-10 ☎0244-26-8300</p>	<p>(株)横電 横山 政治 〒975-0027 福島県南相馬市原町区上北 高平字高松153-1 ☎0244-26-8446</p>
<p>あおいの鉄工所 古田 明洋 〒979-2453 福島県南相馬市鹿島区小池 善徳242 鹿島工業団地 HOPE1 ☎090-8786-9454</p>	<p>(有)大伸工業 栃本 典一 〒970-8043 福島県いわき市中央台鹿島1-7-16 ☎0246-29-5514</p>	<p>(有)プログレス 福島県南相馬市</p>
<p>(株)ニーズ 三瓶 浩徳 〒960-0103 福島県福島市本内字南街道下1-1 ☎024-552-5831 ☎024-552-5834</p>	<p>坂本建築板金 坂本秀一郎 〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町3606-5-111</p>	<p>(有)浪江緑化 岡田 和雄 〒975-0032 福島県南相馬市原町区桜井 町2-344 シティハイツ21 105号 ☎090-3368-0501</p>
<p>(株)吉田ウェルディング 吉田 悟 〒360-0836 埼玉県熊谷市武体181-12 ☎048-598-6471</p>	<p>(有)佐川工業 佐川 洋一 〒975-0015 福島県南相馬市原町区国見 町1丁目 夜の森パークサイドテラス207 ☎090-1064-8035</p>	

<p>(株)ナミエ 小林 弘之 〒311-3422 茨城県小美玉市中延830 藤井アパート2号室 ☎090-2363-3241</p>	<p>(有)ササキボデー 佐々木栄一 〒969-1128 福島県本宮市本宮字館町186-1 ☎090-1065-6574 ☎0243-24-8670</p>	<p>(株)伊藤商店 伊藤 健秀 〒975-0021 福島県南相馬市原町区金沢字堤下421-2 ☎0244-26-8701</p>
<p>(株)まつもと住建 松本 敬三 〒976-0042 福島県相馬市中村字高池前53 ☎0244-26-8064</p>	<p>(有)山崎興業 山崎 安男 〒960-1406 福島県伊達郡川俣町鶴沢字社前77 ☎024-573-5213</p>	<p>住吉建材 住吉 俊博 〒975-0063 福島県南相馬市原町区馬場字台83-12 ☎090-1490-1619</p>
<p>マルヨシ商会 菅野 好行 〒960-0241 福島県福島市笹谷字谷地前 24-11 ラフィーネ笹谷101 ☎090-8424-5465 ☎024-557-3105</p>	<p>スガタ彫刻 三瓶 章陸 〒981-1503 宮城県角田市島田字御蔵林3-2 ☎090-6220-9390</p>	<p>浪江日本プレーキ(株) 下館事業所 関根 英夫 〒308-0857 茨城県筑西市小川1500 ☎0296-20-2390 ☎0296-20-2397</p>
<p>陶吉郎窯 近藤 学 〒974-8201 福島県いわき市江畑町塙72-30 ☎0246-62-0089</p>	<p>大堀焼窯元 菅原陶器店 小野田利治 〒970-8021 福島県いわき市平中神谷字十二所河原7-1 ☎090-1932-7981</p>	<p>(有)キャニオンワークス 群馬工場 半谷 正彦 〒370-0725 群馬県邑楽郡千代田町上中森928 ☎0276-86-3511</p>
<p>大山建具工房 大山 信二 〒963-0551 福島県郡山市喜久田町尚武 池23-7 新田貸家3号 ☎090-8785-5437</p>	<p>(資)旭屋 鈴木 昭孝 〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字恩田80-1 ☎080-3394-7618</p>	<p>陶徳陶器店 陶 富治 〒963-0725 福島県郡山市田村町金屋字上川原176 ☎080-5566-5856</p>
<p>(株)阿久津材木店 阿久津裕司 〒979-2522 福島県相馬市日下石字羽山10-1 ☎0244-26-8295</p>	<p>(株)アイ デイ ー 草野 泰治 〒961-8044 福島県西白河郡西郷村石塚北97-103 ☎0248-21-8777</p>	<p>近徳 京月窯 〒960-0231 福島県福島市飯坂町平野道南4番地 ☎024-542-2818</p>
<p>(株)ダイイチ 下河辺行高 〒979-2453 福島県南相馬市鹿島区小池善徳241-1 ☎0244-26-8538</p>	<p>(株)鈴木酒造店 長井蔵 鈴木 市夫 〒993-0015 山形県長井市四ツ谷1-2-21 ☎0238-88-2224 ☎0238-88-3503</p>	<p>(株)双葉紙器 熊川喜八郎 〒970-8046 福島県いわき市平吉野谷字南作105-23 ☎0246-46-3015</p>
<p>浪江ハーネス(株) 愛沢 春彦 岩代工場 〒964-0314 福島県二本松市西勝田字樋ノ口2-1 ☎0243-65-2550 ☎0243-65-2551 原町工場 〒975-0018 福島県南相馬市原町区北町29-1 ☎0244-26-9112</p>	<p>ヨモギタ設備(株) 蓬田 節 事務所 〒963-8831 福島県郡山市七ツ池町1-17 バセオ七ツ池B-102 駐車場 〒969-1301 福島県安達郡大玉村大山大江仲田66-1 ☎090-3759-6418</p>	<p>東北土木(株) 鈴木 仁根 いわき営業所 〒970-8026 福島県いわき市平材木町6 柏屋ビル1F ☎0246-24-6350 ☎0246-24-6355 南相馬営業所 〒979-2453 福島県南相馬市鹿島区小池善徳241-1 HOPE1 なみえ復興善徳工業団地内 ☎0244-26-3801 ☎0244-26-3804</p>
<p>(株)八千代 八木田英二 〒240-0101 神奈川県横須賀市長坂4-2-7 ☎046-856-0224</p>	<p>T K工業 高松 伸一 〒960-2158 福島県福島市佐原字田中内74 旧佐原小学校応急仮設住宅5-1 ☎090-9747-5075</p>	<p>(有)龍美工業 矢口 龍彦 〒970-8026 福島県いわき市平字中町23-4 ☎0246-38-8847 ☎0246-38-8897</p>
<p>伊達重機 前司 昭一 〒970-8003 福島県いわき市平下平窪味噌農202 ☎090-7934-8174</p>	<p>ビルドアップ(株) 和田 孝 〒963-0102 福島県郡山市安積町笹川字 西長久保150-8 ☎024-937-3005</p>	<p>(有)赤間工業 赤間 徹 〒963-8041 福島県郡山市富田町下双又 16-16 センチュリーパレスC-101 ☎090-5839-5453 ☎024-973-5799</p>
<p>(有)加勢 加勢 孝 ☎024-983-8177</p>	<p>(有)八島鉄工所 八島 貞之 〒975-0032 福島県南相馬市原町区桜井町2丁目380-1 ☎0244-26-6750 ☎0244-26-6750 事務所 〒970-8047 福島県いわき市中央台高久4丁目2-1 ☎0246-38-3733 ☎0246-38-3733</p>	<p>(株)良和工業 志賀 良彦 〒963-0111 福島県郡山市安積町荒井字 洞田4-1 辰三共栄ビル202 ☎024-983-6731</p>
<p>會津鉄建工業(株) 猪巻 利光 〒976-0053 福島県相馬市小野字小野迫89-12 ☎0244-35-1536 ☎0244-26-3482</p>	<p>(有)星野工業 相馬営業所 星野 義次 〒976-0042 福島県相馬市中村字川沼156 ☎0244-35-1223 ☎0244-35-1223</p>	



千葉県 (柏市)

- 12月1日(土)
- 会場 京北ホール
- 参加人数 約40名

千葉県駐在の復興支援員と現地実行委員による企画・運営で行われました。浪江町出身のピアニスト添田哲平さんにもお越しいただき、ピアノの演奏を聴いたり、演奏に合わせてみんなで歌を歌ったり楽しい時間を過ごしました。また浪江町の映像を見ながらさまざまな意見交換が行われました。



県中エリア (須賀川市)

- 12月1日(土)
- 会場 須賀川市民温泉
- 参加人数 約30名

午前中は、吹雪くような空模様でしたが、開催時には晴天に。前半の「ラフターヨガ(笑いヨガ)」では、みんなで笑い、後半のおしゃべりも時間ぎりぎりまで楽しむことができました。参加者の方からは、「須賀川にも自治会がほしい。」「みんなでもっと集まりたい。」といったお話が出ました。



会津エリア (猪苗代町)

- 12月2日(日)
- 会場 猪苗代町農村環境改善センター
- 参加人数 約30名

猪苗代町での初めての開催となりました。会津若松市などに避難している方も集まりにぎやかな会となりました。



県北エリア (本宮市)

- 12月3日(月)
- 会場 本宮市民元気いきいき 応援プラザ「愛称えぼか」
- 参加人数 約20名

本宮市での初めての開催となりました。日ごろ、本宮市社会福祉協議会主催の借上げ住民交流会に参加している方が多く、顔見知り同士「ラフターヨガ(笑いヨガ)」が始まる前から、室内には笑い声が響いていました。



東北エリア (岩手県)

- 12月8日(土)
- 会場 ホテルシティプラザ北上
- 参加人数 約5名

今回は、北上市での開催となりました。懐かしい浪江の映像を見ながらの思い出話や今の生活についての話となりました。「医療費の増で、町の財政が心配。」「中途半端な状況がいつまで続くのか。待つて過ごす5年は長い。」「いつまでも避難者としてではなく、胸を張って生活していきたいので、住民票を避難先へ移しました。」「町民のみんなが、支援されるだけでなく、前向きに生活して行ってほしい。」など、長く続く避難生活の思いを共有した会となりました。



県南エリア (白河市)

- 12月9日(日)
- 会場 白河市産業プラザ 人材育成センター
- 参加人数 約40名

白河では今年度2回目の開催となりました。開催時間のころには小雪がちらつき始める寒い日でしたが、みんなで再会を喜び合い、にぎやかに会話を楽しみました。8日に一時帰宅された方もおり、浪江町の映像を見ながら、帰宅をした様子を話す姿も見られました。

なみえの

“しゃべり場”

～集まれ! 浪江のなかま～



県内外各地で同じ浪江町民同士、みんなで集い、語り合う場、共感し合う場、理解し合う場、励まし合う場、笑いあう場、さまざまな場として“しゃべり場”を開催しています。各地の交流会の様子をお知らせします。

主催 特定非営利活動法人まちづくりNPO新町なみえ・浪江町
 生活支援課避難生活支援係 TEL 0243-62-0305



東北エリア (秋田県)

- 10月13日(土)
- 会場 ホテルアイリス
- 参加人数 約20名

今回は、由利本荘市での開催となりました。前回の秋田市開催時の参加者同士や初参加の方も交え、日常生活での情報交換や「秋田の茶碗蒸しは、甘い。」など食文化の違いについての話で会話が弾みました。



東北エリア (青森県)

- 10月14日(日)
- 会場 八戸プラザホテル
- 参加人数 約5名

少人数での開催となってしまいました。参加者の方から「避難先の地元の方に『あなたは、旅人でしょ。』と言われ、輪に入れてもらえず、つらかった。」「今回は、たくさんの近くにいる浪江の方と話せる楽しみに来たが、人数が少なくて残念だった。」と避難生活の苦労や寂しさを共有する会となりました。



いわきエリア (いわき市)

- 10月18日(木)
- 会場 内郷コミュニティセンター
- 参加人数 約70名

「ラフターヨガ(笑いヨガ)」をとり入れた初めての交流会となりました。「久しぶりに大きな声で笑った。」「体を動かし、スッキリした。」とみんなで楽しむことができました。



栃木県 (宇都宮市)

- 10月28日(日)
- 会場 コンセーレ
- 参加人数 約30名

栃木県に避難している浪江町民が現地実行委員となり役場と一緒に企画・運営しました。高崎経済大学の学生を交えたしゃべり場では、それぞれの浪江町に対する熱い思いがたくさん飛び交っていました。



東北エリア (山形県)

- 11月3日(土)
- 会場 山形国際ホテル
- 参加人数 約20名

山形県駐在の復興支援員も参加させていただきました。これからの雪に対する不安や、浪江と山形の食の違いなどさまざまな意見や情報の交換をしました。



東海エリア (静岡県)

- 11月10日(土)
- 会場 富士市フィランセ
- 参加人数 約10名

参加者少数ではありましたが現地実行委員を中心に活発な“しゃべり場”が行われました。それぞれが抱える不安や悩みをみんなで共有したり、静岡での自分の生活のことを話したりと、とても前向きな気持ちになれる場となりました。



学校だより vol.4

自然豊かで伝統にあふれる「ふるさと大堀」



大堀小学校は、震災前159名の児童が在籍していました。現在は、県内に69名、県外に69名の児童が避難し、それぞれの避難先で学習しています。教職員も県内各地に分かれ仕事をしています。大堀小学校単独でのつどいなどは行っていませんが、ふるさと学校やなみえの「しゃべり場」には多くの子どもたちや保護者が集まり、短い時間ではありましたが、ふれあいの時を過ごすことができました。震災時に担任をしていた教員は、大堀小学校での思い出と一人一人の子どもたちの成長に感慨もひとしおでした。友だちと楽しそうに話し活動する子どもたちの目の輝きに、励まされる思いもしました。

大堀小学校では、震災後、不定期ではありますが学校便りを発行してきました。また、11月22日には大堀小学校のホームページを開設し、全国に避難している児童や保護者の皆さまに情報を発信しています。学校便りはホームページでも見ることができますのでぜひご覧ください。

ホームページ [URL www.ohbori-e.fks.ed.jp](http://www.ohbori-e.fks.ed.jp)

平成23年3月11日、放課後に予定していたワックスがけのため、児童の机を多目的広場に移動し、着替えや下校の準備をしているときに地震が発生しました。そのため、校舎内

には児童の荷物や着替えなどが散乱したままとなっていました。学校周辺の放射線量は高く自由には立ち入りはできませんが、何度か教職員で学校に立ち入り、子どもたちの荷物の確認や整理作業を行って来ました。浪江町の区域再編の結果次第では、子どもたちのランドセルや学用品もお返しできるのではないかと考えています。

自然豊かで伝統にあふれる「ふるさと大堀」の学校と思い出を守っていけるよう、今後も教職員力を合わせて活動していきたいと考えております。今後とも、保護者の皆さま、地域の皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。



☎大堀小学校（浪江小・中学校事務局） TEL 024-567-6770

今月の「しゃべり場」

参加者数把握のため、事前申し込みが必要となる場合がありますのでご注意ください。

■申し込み電話番号 080-2800-1634

開催日時	開催地	会場	申し込み期限	内容
1月16日(水) 13時30分～ 15時30分	県北エリア (福島市)	「A・O・Z (アオウゼ)」 多目的ホール (福島市曾根田町1-18 MAXふくしま4階)	申し込み 不要	13:40～14:40 「“笑い”で健康になろう！ラフターヨガ (笑いヨガ)」 講師：整体&自然療法 ステラマリス 院長 坂内 直人先生 ※笑いヨガは、ヨガの“呼吸法”を行うだけで難しい ポーズは一切ありません。特別な準備も必要なく、 誰でも簡単に楽しくできます。 当日は、バスタオルを持参のうえ、動きやすい服 装でお越しください。 14:40～15:30 交流会 (フリータイム)
1月28日(月) 13時30分～ 15時30分	県中エリア (郡山市)	ビックパレットふくしま プレゼンテーションルーム (郡山市南二丁目52)	1月25日(金)	13:40～14:20 歴史講座「奥州中村藩の系譜と歴史」 講師：南相馬市博物館 収集展示委員会歴史部会長 二上裕嗣 先生 14:20～15:30 交流会 (フリータイム)
1月30日(水) 13時30分～ 15時30分	相馬エリア (相馬市)	相馬市総合福祉センター 「はまなす館」 2階 和室 (相馬市小泉字高池357)	1月29日(火)	

※当日の内容は、会場ごとに異なります。

※各会場とも駐車場に限りがあります。公共交通機関の利用や乗り合せにご協力ください。

※今後も、県内外各地で開催を予定しています。県内は、県北、県中、県南、いわき、相馬、会津のエリアに分けて、開催していますが、各会場となたでも参加できます。

二本松市内での定期交流会 “集まっ会”も開催中

浪江町民であれば県内、県外、借上げ住宅、仮設住宅に関係なくどなたでも参加できます。
皆さまのご参加をお待ちしています。

10月25日(木)



- 会場 二本松市市民交流センター
- 参加人数 約50名

今回は、「いも煮会」として、みんなでお汁とおにぎりを食べながら交流を深めました。毎回参加される方も多く、「次回はいつ?」「毎月楽しみにしているの。」といったお話ができていました。

11月26日(月)



- 会場 浪江町役場
- 参加人数 約20名

今回は、新しくなった役場での初めての開催となりました。二本松郵便局・日本郵便株式会社東北支社との共同開催で、先着20名限定の少し小さな会となりました。飛田操先生指導のもと、みんなで絵手紙を作成し、「難しいわ。」「あなたはセンスがあるね。」などしめじやみかんなどを題材に作品を仕上げることができました。

今月の“集まっ会”

- ▷日時 1月24日(木) 11時30分～14時
- ▷場所 二本松市市民交流センター
1階 多目的室 (JR二本松駅より徒歩5分)
- ▷内容 11時30分～
お餅を食べながらの交流
(つきたてのお餅をみんなで食べましょう!)
13時～
講話「放射能と農業」
講師：菅野正寿先生

- ▷参加費 無料
- ▷申し込み先 まちづくりNPO新町なみえ
TEL 080-2800-1634
- ▷申し込み期限 1月22日(火)
※駐車場に限りがありますので、車の乗り合せや公共交通機関のご利用をお願いします。
- ▷実施団体 特定非営利活動法人
まちづくりNPO新町なみえ
※この事業は、町から委託を受けて実施しています。

☎特定非営利活動法人まちづくりNPO新町なみえ TEL 080-2800-1634 ※対応時間 9時～16時

復興なみえ町十日市祭



11月23日、24日の2日間、二本松駅前周辺で復興なみえ町十日市祭が開催されました。

会場では、浪江小・中学校の児童生徒による発表やアスナロ幼稚園の園児によるお遊戯、大堀の神楽や請戸の田植え踊りなどの伝統芸能などが披露されました。

また、浪江焼麺太国のほか浪江町のお店6店が出店し、懐かしい味を求める町民らの列ができ、ふるさとを想い、再会を喜び合う多くの来場者でにぎわいました。



浪江小の全校児童による発表。



この日のために、アスナロ幼稚園の子どもたちが集まり、かわいらしいダンスを披露してくれました。



懐かしい味を求めて。

十日市祭

刈宿の浦安の舞



浪江小中学校の児童生徒の作品が展示されました。

浪江小の児童が大堀相馬焼作りに挑戦しました。

● 渋谷フェスティバルに ● 参加して



浪江町相馬流れ山踊り保存会は、11月3日、4日に渋谷区の東日本大震災復興支援イベントに参加させていただきました。

被災後、会員も各地に散り散りになり、故郷に帰ることができない日々の中で、「故郷を心の中で感じていたい。」みんながそんな思いで練習を再開し、復興祭や芸能祭等に参加させていただきました。

そんなとき、東京に避難していた会員の娘さんが渋谷区の企画を知り、いち早く渋谷区と福島県に働きかけていただき、復興祭にご招待いただきました。踊りを通して多くの皆さまに浪江町を感じていただき、心を通わせたい思いで参加しました。多くの浪江町出身の方々にお集まりいただき、感激しました。

今を大切にすることがより良い生活につながることを信じ、これからも心をひとつにして伝統を守り続けていきたいと思えます。一日も早い復興を願うとともに、若い世代へ伝統芸能の継承が叶う日が来ることを強く念じています。

浪江町相馬流れ山踊り保存会 副会長 高木 操子



たすきに想いを込めて

11月18日、第24回ふくしま駅伝が開催され、白河市をスタートに県庁までの96.5km、16名の選手がふるさとへの想いを込めてたすきをつなぎました。

選手が全国各地に避難し、思うような練習ができない中、厳しい寒さやアクシデントもありましたが、総合33位、町の部14位の成績を残しました。

大会参加にご協力いただいた関係者の皆さま、沿道で応援してくださった皆さま、ありがとうございました。

笑顔いっぱい

10月12日、福島市内の「あづま温泉」敷地内において、福島地区なみえ交流会主催の「いも煮会」が開催され、懐かしい故郷の仲間67名が参加し、たくさんの笑顔の花が咲きました。

また、11月13日には、50名参加のもと、伊達市内の「ふるさと会館」において「カラオケと歌謡ショー」も開催されました。会員によるカラオケ大会では、笑顔があふれ、避難生活をひと時忘れることができました。

この2つの事業は、社会福祉法人福島県共同募金会の赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金 住民支え合い活動」助成事業を活用して行われました。

*福島地区なみえ交流会
会長 今野正悦 TEL 090-3756-6556



皆さまの身の回りにおける楽しい話題、変わった話題などの情報を募集しています。

TEL 0243-62-4731

やっぱり楽しい!

11月11日に、会津若松市内の錦町内会館において、日本赤十字社福島県支部などのご協力のもと、会津地方なみえ会「いも煮会」が開催され、会員36名が参加し、楽しいひと時を過ごしました。

また、23日には、社会福祉法人福島県共同募金会の赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金 住民支え合い活動」助成事業を活用し「晩秋の名物『復興なみえ町十日市祭』参加事業」を開催し、総勢15名でバスの旅と十日市を楽しみました。「会場へ向かう時間をみんなとバスで一緒に過ごすだけでもすごく楽しい。十日市で久しぶりの“なみえの味”も味わえて満喫です。」と参加者からうれしい声が聞かれました。

*会津地方なみえ会加入ご希望の方は、
会長 鈴木宏孝(やよい食堂) TEL 090-2909-6133
副会長 亀田女子(仙台屋) TEL 090-6789-2621
までご連絡ください。



ありがとうございました



秦野水口ロータリークラブ(神奈川県秦野市・会長 諸室常平さん)様から義援金が届けられました。



12月6日、株式会社クボタ様からミニ耕運機2台が本宮市高木仮設住宅へ寄贈されました。



原水爆禁止日本協議会様から仮設住宅へカレンダーを寄贈していただきました。

☎ 問合せ
☎ 申込み
☎ 電話
✉ ファックス
✉ メールアドレス
🌐 ホームページアドレス
📠 フリーダイヤル

+ 仮設津島診療所のお医者さん

☎ 仮設津島診療所 ☎ 0243-24-1431

■診療時間 午前：8時30分～12時
午後：13時30分～16時

1月4日(金)	関根・玉井・手塚
7日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
8日(火)	関根・佐藤・手塚
9日(水)	関根・西・手塚
10日(木)	関根・今村・手塚
11日(金)	関根・玉井・手塚
15日(火)	関根・佐藤・手塚
16日(水)	関根・西・手塚
17日(木)	関根・佐川(午後)・手塚
18日(金)	関根・玉井・手塚
21日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
22日(火)	関根・佐藤・手塚
23日(水)	関根・西・手塚
24日(木)	関根・今村・手塚
25日(金)	関根・玉井・手塚
28日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
29日(火)	関根・佐藤・手塚
30日(水)	関根・西・手塚
31日(木)	関根・今村・手塚

(都合により変更あり)

滞納町税は早めに完納!

東日本大震災以前に課税された町税は、納税していただくようになります。

町税に未納がある方には、本年5月に「未納町税のお知らせ」で納付書と通知を送付していただきます。

お手元に納付書がない方は、納付書を送付しますので、ご連絡ください。

☎ 町民税務課納税係 佐藤・鈴木
0243-62-0129

平成24年度 浪江町就学援助申請受付

平成24年度の浪江町就学援助の申請受付を開始します。

現在、小・中学校に通学している児童生徒がいる世帯に対し、1月上旬に申請書類を郵送しますので、浪江町で行う就学援助の対象となる方は申請してください。

就学援助は、原発避難者特例法により原則として避難先自治体で実施することとなっておりますので、援助を希望される方は、本年度未申請の方は、まずは通学先の教育委員会へお問い合わせください。

なお、避難先自治体で援助を受けられる場合は、本町からの援助は行いませんのでご了承ください。

(両方の自治体から援助を受けることはできません)

▽就学援助対象者

所得条件等により、避難先の自治体で援助を受けられなかった方

▽援助内容

浪江町就学援助規則に従い、学校給食費(実費)および就学に必要な学用品費等にかかる経費の一部を援助します。

▽申請期限

1月30日(水)
☎ 教育委員会事務局学校教育係
0243-62-0304

税の救済措置

浪江町内の土地および家屋の代わりとなるものを取得した場合、一定の要件を満たしているものについては、税の救済措置を受けることができます。詳しい救済措置の内容や要件は、お問い合わせください。

救済措置を受けられる税目	問い合わせ窓口	主な問い合わせ先
登録免許税	法務局	法務局震災相談窓口 ☎ 0120-227-746
印紙税	税務署	相馬税務署 ☎ 0244-36-3111
不動産取得税	都道府県税務担当部署	福島県相双地方県税部 ☎ 0244-26-1126
固定資産税 都市計画税	都市町村税務担当部署	

※問い合わせは、新しく取得した土地や建物を管轄する法務局、税務署、都道府県税担当部署、都市町村税務担当部署へお願いします。

大学通信教育合同入学説明会

大学通信教育の一層の普及を図ることを目的として、大学通信教育を行っている大学、大学院、短期大学による合同入学説明会が開催されます。

▽日時

2月10日(日) 11時～16時

▽場所

仙台市情報・産業プラザ
アエル5階
(仙台市青葉区中央一丁目3番地1号)

▽内容

各大学等別の相談コーナーを設け、希望する大学等の教職員に講義内容・学習方法・受講手続きなどについて直接相談できます。参加者には、大学通信教育の概要、学習方法、取得できる教員免許・資格などが掲載されている小冊子が配布されます。

☎ 公益財団法人私立大学通信教育協会
03-3818-3870

福島県借上げ住宅【特例】制度の受付期間

福島県借上げ住宅特例措置の受付は、平成25年3月31日までに入居可能な物件(福島県内の民間賃貸住宅)のうち、平成25

ノロウイルスに注意

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬季(12月～翌年1月がピーク)に流行します。

ノロウイルスは手指や食品などを介して、口から体内に入って感染し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどは重症化したりすることがあります。正しく理解し、感染を防ぎましょう。

■どうやって感染するの?

- 大きく2つのパターンが考えられます。
- ①ノロウイルスに感染した人の便やおう吐物などから感染する場合
 - ②ノロウイルスに汚染された食品を食べて感染する場合(食中毒)
※調理などをする食品取扱者を介して二次感染する食中毒のケースが近年増加傾向にあります。

■予防するにはどうするの?

- 食事の前やトイレの後などには、せっけんをしっかりと手を洗いましょう。
- タオルなど共用で使用するものを避けることも必要です。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
- 食品中のウイルスは加熱により感染性をなくすことができます。食品の中心温度が85℃1分以上になるようにしっかりと熱を通して食べましょう。
- 便やおう吐物の処理をするときは素手で触らず、必ずビニール手袋を使用しましょう。汚物の消毒は市販の塩素系消毒剤(漂白剤)を水で濃度を薄めて使用してください。

*詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ & A」をご覧ください。

避難状況 (11月30日現在)

都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	70	滋賀県	2
青森県	58	京都府	39
岩手県	32	大阪府	69
宮城県	568	兵庫県	26
秋田県	81	奈良県	5
山形県	248	鳥取県	1
福島県	14,563	島根県	10
茨城県	831	岡山県	16
栃木県	398	広島県	16
群馬県	216	山口県	1
埼玉県	785	徳島県	1
千葉県	589	香川県	2
東京都	986	愛媛県	14
神奈川県	510	高知県	7
新潟県	589	福岡県	21
富山県	21	佐賀県	5
石川県	41	長崎県	11
福井県	12	熊本県	3
山梨県	68	大分県	4
長野県	58	宮崎県	7
岐阜県	21	鹿児島県	7
静岡県	83	沖縄県	31
愛知県	35	国外	10
三重県	6		

使用料が免除になる 県有施設

▷免除対象者

避難指示区域等市町村およびその住民自治会

▷免除対象となる使用目的

※利益を上げない場合に限る

- 市町村が主催する復興・復旧のための会議
- 市町村が主催する市町村政懇談会、意見交換会等の行事
- 市町村が実施する住民健康診断等の住民向け事務事業
- 住民自治会または町村会が主催するコミュニティの形成・維持のための会議
- 住民自治会、NPOまたはその他の団体が主催する復興・復旧に向けた住民向けの説明会、研修会、座談会、講演会等の行事

※使用料免除の詳細は、各施設にお問い合わせください。

☎ 福島県避難地域復興課
☎ 024-521-8435

	施設名	連絡先
福島市	県庁本庁舎	024-521-7080
	県庁西庁舎	024-521-7080
	自治会館	024-521-7080
	福島県文化センター	024-534-9191
	ハイテクプラザ 福島技術支援センター	024-593-1121
会津若松市	あづま総合運動公園	024-593-1111
	会津若松合同庁舎(本館、新館、別館、敷地)	0242-29-5214
郡山市	ハイテクプラザ 会津若松技術支援センター	0242-39-2100
	ハイテクプラザ	024-959-1929
	郡山合同庁舎	024-935-1214
いわき市	福島県産業交流館(ビッグパレットふくしま)	024-947-8010
	農業総合センター	024-958-1706
白河市	ハイテクプラザ いわき技術支援センター	0246-44-1475
	福島県白河合同庁舎	0248-23-1506
須賀川市	福島県文化財センター白河館・まほろん	0248-21-0700
	福島空港公園	0248-89-1766
二本松市	二本松合同庁舎	024-523-2363
南相馬市	南相馬合同庁舎	0244-26-1116
伊達市	伊達合同庁舎	024-523-2363
南会津町	南会津合同庁舎	0241-62-5203
西郷村	太陽の国厚生センター	0248-25-3020
	勤労身体障がい者体育館	0248-25-3020
棚倉町	棚倉合同庁舎	0247-33-3131
三春町	三春合同庁舎	0247-62-3113

浪江の こころ通信

・第19号・

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先が見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のこころプロジェクト”が立ち上げられました。東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会(※)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のこころ通信」が編集・発行されます。

浪江のこころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のこころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこだわりを発信・共有しようとするものです。

※東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会は、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

「浪江のこころ通信」第19号への
感想をお寄せください。

【連絡先】〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
「浪江のこころ通信」宛
FAX.0243-22-4218



わたしたちのまち

	平成22年度末	平成23年度末	平成24年11月末
人口	21,434	19,866	19,795
男	10,527	9,758	9,687
女	10,907	10,108	10,108
世帯数	7,671	7,315	7,335
転入		275	120
転出		1,594	188
出生		138	97
死亡		471	156
その他		84	3

※転入は、震災後転出した方の再転入のみ。その他は、転出取り消し等。
※平成24年11月末の人口は、外国人を含みます。

お誕生

出生届は14日以内に(11月)

こどもの名(性別)	親の名	住所
山田 龍成 男	敬・千里	加倉
菅野 美妃 女	昌克・かおり	権現堂
稲垣 月花 女	正広・沙耶香	谷津田
島 拔来 翔 男	洋平・ありさ	幾世橋
鈴木 環奈 女	聡一郎・由里子	樋渡
根本 彩音 女	隆征・美和	谷津田
山田 陽菜 女	誠・絢	谷津田

お悔み

死亡届は7日以内に(11月)

死亡者名	年齢	住所
横山 テツ子	78歳	立野
品川 ヒデ子	80歳	請戸
横山 範雄	75歳	棚塩
小野田 勘一	93歳	大堀
赤羽 ヒデ	88歳	大堀
熊本 シゲ	87歳	田尻
三瓶 一好	81歳	権現堂
砂金 和男	83歳	権現堂
神子 あき	102歳	川添
森 賢一	81歳	幾世橋
北郷 守	63歳	加倉

※この欄には、連絡がとれた方のみ掲載しています。住民票を町外に異動された方で、掲載希望の方はご連絡ください。
復興推進課情報統計係 ☎0243-62-4731

浪江町への義援金

12月10日現在、1,132件3億7,648万1,963円の義援金が寄せられています。このうち、3億5,274万7千円が町民の皆さまへ配分されています。皆さまの温かいご支援、ありがとうございます。

お知らせ
1月15日の「広報なみえ・お知らせ版」は、お休みとなります。

双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所では、避難されている農家の皆さんの相談窓口を設置しています。放射性物質に関する情報、農産物・土壌モニタリング結果など、わかりやすくご説明します。お気軽にお越しください。

▽日時 1月18日(金) 10時～15時
▽場所 浪江町役場二本松事務所 双葉農業普及所

※ブログ「ふたばの農業通信」
URL <http://blog.goone.jp/futabafukyu>

つながるこころ

メッセージ 随時募集中

浪江中 平成8年度卒業生の皆さんへ

平成8年度浪江中卒業生(昭和56年4月～昭和57年3月生まれ)の女性の厄流しと同窓会を開催します。詳細は、別途案内状でご確認ください。現在、参加の有無についてご連絡いただける方は、下記の連絡先までお願いします。また、ご家族の方からお伝えいただければ幸いです。

■開催日 2月9日(土)
■場所 ビューホテルアネックス郡山
■連絡先 取りまとめ 佐々木 一
☎080-5738-8855 ✉chirumi.523@kmf.biglobe.ne.jp

浪江東中 平成10年度卒業生同窓会のご案内

平成25年4月28日、郡山市で同窓会を行いたいと思います。詳細は、ホームページを作成しましたので、ご確認ください。
URL <http://www4.hp-ez.com/hp/10-namiehighashi>

浪江消防署からのお知らせ

■お餅の食べ方、お酒の飲み方に注意しましょう

これからの時期は、お餅やお酒を飲食する機会が増える季節です。しかし、餅を喉につまらせたことによる窒息事故や、お酒の飲み方によっては楽しいはずの時間が一転することも少なくありません。「私は大丈夫!」と自信を持っていても、体調や環境により急性アルコール中毒の症状に陥ることもあります。安全で楽しく食事やお酒を飲食するため、注意してお過ごしください。

■借上住宅での防火講話・救急講習会の受講募集中

11月26日に福島市の吾妻学習センターとまごころ福島サポートセンターにて、借上住宅で生活をされている浪江町の方、約165名を対象に、防火講話・救急講習会を実施しました。現在住んでいる福島市は浜通りより気温が低く、脳卒中やインフルエンザを発症する危険が高いことを説明し、注意するよう促しました。浪江消防署では、大切ないのち・地域の暮らしを守るため借上住宅、仮設住宅での防火講話・救急講習会の受講を募集しています。少ない人数でも実施していきたいと思っておりますので、お気軽にご相談ください。

☎浪江消防署、富岡消防署川内出張所 ☎0240-38-2119



富川 牧江さん(川添)

取材者：きょうとNPOセンター 田口
取材日：11月30日

浪江町中央公民館の高齢者学級の皆さんに届けたいメッセージ

富川さんは、昨年3月11日以降連絡をとることが難しくなった高齢者学級の皆さんと再会できる日が来ることを願い、京都での生活を続けて来られています。

1人で避難して来た京都での生活も、その後、大阪に住んでいた娘と同居をし、1年8カ月が過ぎました。主人は松江市に単身赴任中で、大学4年生の息子は来春から奈良県の高校教師として働くことになり、時間の流れを感じています。

浪江町を離れてからはより一層、家族や親戚、友人・知人と連絡をとり合い、交わし合う言葉が心の支えとなっています。日常の他愛もないコミュニケーションや情報交換を通じた「つながり」のありがたさを感じる日々です。震災以降これまでのように気軽に会えない友人同士の近況を伝え合う通信をつくって、絆をより深めています。

震災前は、浪江町の臨時職員として、公民館の高齢者学級に関わるお仕事をしていました。あの日：3月11日も、午前中に各学級の代表者会議があり、1

年間の取組みを振り返りながら、次年度に向けた学習内容に関する打ち合わせを終えたところでした。今、毎日のように思い出すのは、5つの学級(浪江松寿学級、

幾世橋長寿学級、請戸くろしお学級、大堀寿学級、苅野しゃくなげ学級)でお世話になった皆さんの顔です。この通信の場を借りて、高齢者学級の皆さんにメッセージを伝えさせていただきます。

皆さん、いかがお過ごしですか？学級では未熟な私を助けていただき、いろいろな活動を通してたくさんのお話を学ばせていただきました。たった1年間だけでしたが、私にとって大切な宝物です。どうか、必ず、お会いできる日までどうぞお元気でいらしてください。

私はここにいて自分にできることを...と思い、本に携わることが好きだったこともあり、最近、地域の図書館で図書ボランティアを始めました。

これから先のことはまだわかりませんが、いつかはきっと浪江町に帰れると信じて、私にできる小さな発信を積み重ね、つながり続けられる関係を大切に育てていきたいと思っています。



▲左から、長女の麻里奈さん、牧江さん



佐藤 光衛さん(苅宿)

取材者：NPO法人市民公益活動パートナーズ 古山
取材日：12月3日

千年に一度の体験だからこそ、心温まる話は後世まで伝えておきたい

佐藤さんは震災前、苅宿で区長をされていました。以前苅宿は農家がほとんどでしたが、新興住宅ができて新しい方々が住みはじめ、半々くらいになったそうです。その新しい住民に地域になじんでもらえるようお祭りやイベントを通じて交流を深め、地区の活動に加わるように地区の人たちと心を砕きながら、山や川に寄り添うように暮らしてきました。苅宿の農家の仕事や景観を守るために、農水省の補助金事業にも携わってこられました。

現在は、福島市で妻のトキ子さんとともに、3人の幼いお孫さんの面倒をみながら、娘さん夫婦と一緒に暮らしていらっしゃいます。



▲左から、佐藤トキ子さん、光衛さん、そして長岡眞さん。長岡さんは現在の区長さんです。取材の折り、佐藤さん宅でお会いしました。苅宿の新旧の区長さんが福島で変わらぬ交流を図っておられる様子を、地域の強い縁を感じました。

あの日は、不気味な光景や音を聞きました。地震発生ときは、13日に地区の総会会場となる公民館や地区内で灯油の配達をしていました。道路脇の水路が左右に大きく揺れて水がこぼれ、電柱がしなり、あちこちの家の瓦が落ちるのを見ました。急いで自宅に戻ると、妻が近所のお友だちと庭石につかまっていた。家は傾いたように揺れ、瓦もガラガラと落ちる中空を見上げると、見る間に真っ暗になって雨が降り出し、雷のような地響きが3回ありました。

津波のことは思いもしなかったのですが、室原川に架かる橋は地震によって大きな段差ができ、サンブラザの橋を通ってようやくまちなかに入りましたが、とても酷い光景でした。再び帰宅し、総会の延期を班長さん方に知らせつつ、自主防災の会や消防の発電機を苅野小学校に運んで暖を取りました。日付が変わるころ、請戸の人たちが着の身着のまままで校庭に車で避難して来ましたが、津波の被害を話すのですが、誰も直ぐには信じられませんでした。

翌日、ヨークベニマルからカットブレードルやカセットコンロの差し入れがあり、私は家から玄米を運び、小高の精米所の行列に並びました。順番が来て精米をしていたときに、水蒸気爆発の音を聞きました。米を公民館に届ける前に避難指示が出て、津島へ向かいましたが、すでに津島の避難所は満杯だったため、川俣町南小学校を経て川俣高校に行きました。10人近い人たちがおり、持ってきた毛布だけで一晩を過ごしました。その後、福島市第三中学校に1週間、妻の姉が住む茨城の竜ヶ崎に約40

日世話になりましたが、その後娘の家で暮らしています。■つらい避難のさなかに、ありがたい心配りがありました。群馬県桐生市に花ぶさ弁当という会社があり、社長さんは苅宿出身です。苅宿は農家が多く、私もその会社に米を納めていました。あのつらい避難のさなか、東和に点在していたほとんどの避難所に弁当を届けてくださいました。カレーライスの炊き出しもされたと聞いています。社長さんにお会いできなかったのですが、なかなかできることではありません。あのころ、ほとんどの人たちがガソリンや食べ物がなく、寒さに震えていました。また東和針道の服部新聞店さんは避難所の人たちにお風呂の提供をしてくださったとのこと。本当にありがたかったです。決して忘れず、多くの浪江の人たちに伝えたいと思っています。

避難が続きますが、気持ちの持ちようだと思います。昔の良さを忘れずに、みんな力を合わせて私たちの苅宿を取り戻したいと思っています。



森川マツ子さん(加倉)

取材者：NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 鍋嶋
取材日：12月3日

浪江町、福島県のつながりを大事にしたい



ご主人とお義母さんの3人で暮らす森川さんの楽しみは、ペランダでの花や野菜の栽培です。

震災直後、原町(南相馬市)の長男の家に避難、数日間いた後、私の実家の飯館村に避難したのですが、私たちには子ども同然の犬がいるために、一度もふとんに手足を伸ばして、ゆっくり寝ることもできませんでした。その上、飯館村も線量が高いことがわかり、再避難をしなければならなくなりました。状況を見かねて、松戸市に住む次男が「来たらいよいよ。」と言ってくれました。私たち夫婦は次男の家に、義母は義妹の家に世話になることになりました。

今の家には、今年の5月に越してきました。私は、腰痛で震災の前後に2度の手術を受け、リハビリのための通院が必要でした。駅から歩いて5分、商店街の中にあるマンションで、通院にも買い物にも便利ですが、やっぱり浪江での暮らしが恋しいですね。浪江にいたころは、私も夫も会社勤めをしていました。仕事の傍ら、夫は狩猟やキノコ採りを楽しみ、私は、野菜や花づくりを楽しむ日々でした。今も、マンションのペランダで、鉢植えの花を育てています。花芽がつくとうれいすね。浪江に住んでいたころは、友だちにあげ、喜ばれていました。こちらに越してきてから気軽にあげる友だちもいないので、少し寂しい思いもしています。

浪江にいたときには、自分の身の周りのことは一人でできた義母ですが、数カ月間の避難生活の中で、体調を崩し、ほとんど寝たきりの状態になってしまいました。アルツハイマーの診断を受け今年8月に入院し11月に退院、今は私たちと一緒に暮らしています。入院している間に病状は改善、週に3日デイサービスに通っています。編み物が好きで、デイサービスに行くときにも、毛糸と編み棒を持って

行きます。夫は、60歳を過ぎた今も、震災前の仕事の経験を活かして近くの病院で働いていますが、仕事から帰ると、義母の話し相手をしてくれ、ほんとうに助かっています。

震災後に6回、浪江に一時帰宅しました。6回目の帰宅のときは、自宅の周辺は草ぼうぼう、木々が道路をふさいでいました。帰りたい思いは強いですが、荒れ果てた家を見ると、帰れる日が来るのだろうかと不安になります。そんなときには、浪江の友だちと励まし合います。いわき市に避難している友だちは、泊りがけで遊びに来たりもしてくれまます。本音で話ができるのは、やっぱり浪江の友だちです。

11月下旬には、被災者支援を行っている松戸市の団体主催の「松戸の史跡めぐり」に参加しました。義母がいるので、遠出はできませんが、被災者を対象にした催し物には、できるだけ出かけるようにしています。米やお酒や果物など、福島県産の物を取り寄せることもしています。浪江町、福島県につながりをこれからも大事にしていきたいと思っています。



高野 康幸さん(請戸)

取材者：NPO法人山形の公益活動を応援する会・アミル 柴田
取材日：12月5日

『人との絆』の大切さが身にしみた震災

高野さんご家族は、地震後、町役場、津島、二本松市などの避難所を点々とした後、娘さんたちが小さいころから家族で毎年のように訪れていたさくらんぼ農家の方を頼り、長女・博美さん家族、次女・瑞希さん家族と一緒に山形県中山町に避難しました。昨年9月から町内の借り上げ住宅に家族3人で暮らしています。

地震が起きたのは、早朝の漁が終わり家でゆっくりしていたときでした。こんなに大きい揺れは初めてでいつ終わるのかと思うほど長く、2回目の揺れで隣の家屋が目の前で一気に倒れ、とても大きな地震だと感じました。すぐに支度し船の様子を見に行くと、いつもあるはずの船が港に一艘も見えず、岸壁に行く、すべての船が港の海底についている状態でした。こんなに水が引いているのは異常だと思いきや家に引き返し、妻と母を乗せ家から逃げました。私たちが逃げた後、娘が心配し請戸に見に行きましたが、玄関で警察の方から津波が来るからすぐに逃げろといわれ、家に入らず逃げたそうです。助かって本当によかった。夕方になり、避難した役場から見た請戸はまるで湖のようになっていて見たときは本当にショックでした。孫たちは津波が押し寄せるところを小学校で見ていたため、心の傷が大きかったのではと心配です。

私の船『第1吉祥丸』は昨年海から1km離れた道路で見つかりました。地震が起きたのは、早朝の漁が終わり家でゆっくりしていたときでした。こんなに大きい揺れは初めてでいつ終わるのかと思うほど長く、2回目の揺れで隣の家屋が目の前で一気に倒れ、とても大きな地震だと感じました。すぐに支度し船の様子を見に行くと、いつもあるはずの船が港に一艘も見えず、岸壁に行く、すべての船が港の海底についているのは異常だと思いきや家に引き返し、妻と母を乗せ家から逃げました。私たちが逃げた後、娘が心配し請戸に見に行きましたが、玄関で警察の方から津波が来るからすぐに逃げろといわれ、家に入らず逃げたそうです。助かって本当によかった。夕方になり、避難した役場から見た請戸はまるで湖のようになっていて見たときは本当にショックでした。孫たちは津波が押し寄せるところを小学校で見ていたため、心の傷が大きかったのではと心配です。

山形に避難することを決めたのは、町を出てから4日目の朝でした。お世話になっていた山形県寒河江市のさくらんぼ農家の方から電話をいただいて、山形県に行くことを決心しました。その方は、私たちの安否が心配でさまざまなつながりを調べ連絡してくださったそうです。避難所を自分の家のように使わせてもらい、役場の方が朝夕の様子を見に必ず寄ってくれたり、畑を貸してくださったり、よくしてくださり勇気づけられました。会ったときに涙を流し喜んでくれた方もおり、今回の震災では、



▲ご家族そろって。
左から高野タキ子さん、サダ子さん、康幸さん



宮城県

横山 眞志さん(立野)

取材者：地域社会デザイン・ラボ 中島
取材日：12月10日

被災者なりの意思を持って、 子どもたちの未来のためにできることを



▲借り上げ住宅の庭には、偶然、浪江産の石があったそうです。「これも心の支えになっています」と、横山眞志さん。

仙台市の借り上げ住宅で奥さま、お母さまと3人暮らし。息子さん一家も近くに移転し、ご自身も仙台市若林区役所で職を得ました。故郷を奪われた悔しさや怒りを乗り越え、「今は前を向いて歩きだしています」。

■忘れられない浪江の思い出
私はJAを退職するまでの3年間、食農教育を担当していました。管内の小学生の息子さんに稲作や大豆栽培を体験してもらって、自分たちが育てたお米でおにぎりを作って食べたり、大豆で豆腐や味噌を作ったり。命あるものが口に入るまでのプロセスを実感していただくことで、農業や環境、地域とのつながりを意識してもらうことが、そもそも趣旨でした。満面の笑顔でおにぎりを頬張っていた子どもたちの今を思うと残念でなりません。

■原発事故後、仙台へ
私たち一家は震災後、着の身のまま南相馬市の家内の実家

に避難しました。が、そこも原発から20km圏内で避難命令が出されたので、家内と母と私の3人は飯館村を経由し、次女の嫁ぎ先の仙台に。息子夫婦と孫の4人は静岡県にある嫁の実家にいったん身を寄せました。国から何の情報も知らされず、放射線の危険にさらされて右往左往し、まさに棄民だと思いました。とはいえ、仙台市に移ってからは嬉しいことも多々ありました。まず、浪江町を知っているという借り上げ住宅の大家さんから大変親切にいただいたこと。県の委託を受けた職業訓練校でIT基礎クラスを受講でき、すばらしい仲間と出会えたこと。またそこでMOS資格を取ることができ、臨時に雇ってくれた若林区役所からは再雇用のお誘いをいただいております。ありがたいことです。

■未来のためにできることを
家を訪ねてきた菩提寺の和尚さんから、「あなたの先祖は加賀の国、今の石川県から修行の名をかりてお坊さんに連れられ、飢饉で疲弊した福島にたどり着いた。祖先が苦勞して浪江に築いた家を、今度は新たな地に築く運命だったと考えよう」と言

い聞かされました。浪江に戻りたいですかと聞かれたら、戻りたくないわけがありません。しかし一時帰宅した折に放射線量を測ると、場所によっては現在も空間線量が20マイクロシーベルト以上あり、しかも家を取り巻く山林は国の除染計画の範囲外です。山から引いている水など内部被ばくの危険を考えると、将来的にも帰還は無理と考えざるを得ません。ところが行政の区分では、うち周辺は、将来的に帰還可能な地域」とみなされています。

国や県に見捨てられた今、浪江町だけが私たちを守ってくれ最後の砦と信じています。またわれわれは被害者であると同時に、加害者として原発の存在を許してきた責任も負っています。個人でできることは本当に少ないけれど、原発反対のデモに参加したり署名をしたり、子どもや孫たちの未来のためにできるだけのことはしたい。仮設住まいでは内向きになりがちですが、自分から外に一步踏み出し、被災者なりの意思を示すことも大切だと思っています。



埼玉県

神内侘子さん(川添)・岡田博子さん(幾世橋)

取材者：NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 大内
取材日：12月6日

「ここまで頑張ってきたんだから」



▲左から神内さんと岡田さん

神内さんは、現在ひとり住まい。息子さんが南相馬と埼玉を行き来しています。

岡田さんは、娘の有加さん、孫の珠奈さんとの3人暮らしです。

■神内さん
震災の日は、父の命日で午前中は、お墓参りに行きました。午後、お嫁さんは孫の元太と優花を連れ3人で海の方にドライブに行っていました。後でわかったことですが、ドライブの途中、元太がサンプラザのボールプールに行きたいと言い出し、そこで遊んでいたために津波に遭わずに済みましたが、地震に驚き外に飛び出して農業用ため池のガードレールに掴まっていた。

そのうち地面が割れてきたのを見て家の隣の空き地に逃げ、座り込んだまましばらく動けませんでした。親子3人が戻って来た姿を見たときは本当に嬉しかったです。もし海の方にそのままドライブしていたらと思うと震えが止まりませんでした。

「だるまスタンプ」を貯めてみんなと行った旅行が良い思い出です。まだ、台紙に貼ったものが残っていますが、捨てずに記念に取っております。

を探しに戻り、うずくまっていた猫を見つけたときはとても嬉しかったです。私は、今住んでいる所にやっとなれ愛着が出てきました。悪く悪く考えると、からだに良くないので考えないようにしています。

願いはただ一つ、これからずっと住み続けることができる自分の家が欲しいです。

■岡田さん
私と娘の有加と孫の珠奈は友人家族と一緒に荻野、川俣を経て、友人の親戚が住んでいる新潟に避難しました。そして翌日、埼玉にいる次女のアパートに移り、その後、孫の学校の近くである現在の住まいに引っ越してきました。今、気がかりなのは、珠奈のことです。環境の変化や親のストレスも影響があるのでしよう、ときどきふとつぶやく言葉に子どもながら、いろいろと考えているのかと感ずることがあります。

浪江が封鎖される2日前に猫

■神内さん・岡田さんから
皆さん、ここまで頑張ったんだから、自分のからだに気を付けてみましょう。どんなイベントや集まりにも行ってみたいですよ。私たちも埼玉の「さいがい・つながりカフェ」で出会い、今ではとても仲良しです。毎月2回ですが、みんなに会うのが楽しみです。先のことを考えるとつらいですが、なんでもやってみようと思っています。

住んでいる場所は違いますが、浪江の人たちの繋がりが支えです。皆さん今後ともよろしくお願ひします。

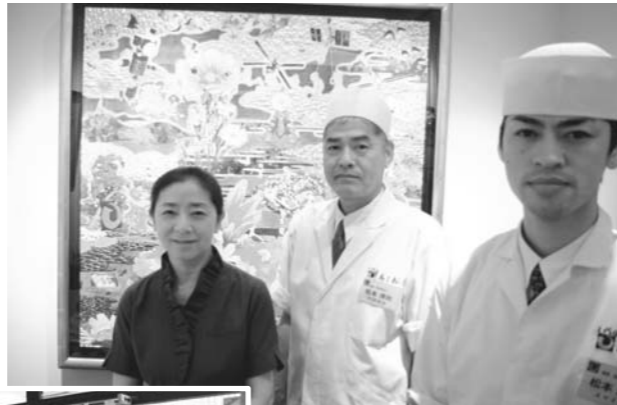


松本 清治さん・茂子さん(小野田)

取材者：茨城NPOセンター・ commons 小原
取材日：12月3日

「鮮度に自信、味にまごころ」 寿し松開業

浪江町で町民に愛されるお寿司屋さん「寿し松」を運営されていた松本さんご夫妻。11月、息子さんとともに茨城県つくば市で新店舗「二代目 寿し松」を開業されました。



▲松本さんご夫妻と、息子で二代目の武士さん。07年リニューアルオープンの際に画家の鴻崎さんにいただいた「寿し松」の絵を背に。



◀二代目 寿し松

息子が生まれた1984年から浪江で「寿し松」をやっていました。97年には富岡店がオープン。2007年には浪江店のリニューアルオープン。いつも常連さんに来ていただいていた。あの日は、近くのいくつかの中学校が卒業式だったため出前の注文が殺到していました。それが一段落して仮眠を取ろうと

していたところに、揺れはじめて、立つていられないような状況で、足の踏み場もなくなっていました。次の日に防災無線が入り津島に避難しようとしたが、避難所がいっぱいで、入ったら出られないと思いそのまま川俣に抜けました。偶然にもスタンドが空いていて大変渋滞していましたが、給油でき助かりました。

それから、福島市の体育館での避難を経て、埼玉で暮らし始めましたが、周囲に知り合いもいない生活でした。それでも寿し松の再開への思いは消えずに新天地を探していたところ、人口も増えている新しい街なので受け入れてもらえるかも、というところでつくば市を選びました。1年以上の埼玉での生活を終えて、つくばに越してきたのは今年5月。半年間の準備を経て11月に「二代目 寿し松」を開業したばかりです。

浪江店と比べると今の店舗は手狭だし、設備の面でまだまだ不便もありますが、とりあえずはこっちで頑張っていきたいですね。

ただ、震災の前は家族みんな近いところに暮らしていたのにバラバラになってしまったことが悔しいです。以前は週末には何世代もの家族が集まって過ごしたものです。帰れるなら帰りたいという思いは当然ありますし、その思いはみんな一緒だと思います。遠く離れたつくばでの開店となりましたが、繋がりのあった懐かしい方も来店してください。それに、新しい出会いがあるから嬉しいですよ。やり方によってはこっちで店舗を増やすことも可能だと思いますよ。

「桜梅桃李」の精神でお客さんの要望に答えていくしかないと思っています。

「桜梅桃李」っていうのは、つまり、「さくら・うめ・もも・すもも」。

花には変わりないんだけど、それぞれ違う。個性があつて、それぞれ良いところがある。マニュアル通りの接客ではなくて、お客さんに誠実にやっていくことが結果的にお客さんに来ていただけることに繋がると信じています。



立川 正恵さん(室原)

取材者：NPO法人 とちぎボランティアネットワーク 徳山
取材日：12月1日

生かされているということを実感しています

浪江町の室原から現在栃木県那須町で避難生活をしている立川正恵さん。震災発生から比較的早い時期に栃木県那須町に避難したそうです。現在小さな街ではありますが、住宅地の一戸建ての住宅で息子さんと生活しています。明るく謙虚で前向きな感じの女性です。



▲少し頼もしくなった息子さんと以前勤めていた職場のカレンダーと。

地震が発生したときは介護の仕事をしていて、榎葉町にある利用者宅訪問のため車の運転をしていました。緊急地震速報で車を停車し地震の揺れが収まった後、訪問した家に戻り避難を促したり、安否を確認したりしました。その後、榎葉町地域包括センターに行き、避難者の受け入れや名簿作りとボランティア活動をjして、その日は家族と合流できませんでした。

翌日は原発事故による避難となり、家族や親友の家族と合流し、避難先では地元の人たちに暖かく迎えられ、私自身介護のケアマネジャーの資格を持っていたので、早い時期に仕事に就くことができました。地元の自治会に入り地域の行事にも参加して、今の生活が特殊ではなく普通の生活として過ごすようにしています。

残念なのは、80歳の母が急激な生活環境の変化に元気をなくし、浪江に帰りたいという願いも叶わず昨年11月に亡くなりました。私自身恵まれた生活を送っていると自覚していますが、夕暮れ時になると浪江町の方角を振り向いてしまうときがあります。「何をしているのだろう、私。」

「浪江のこころ通信第18号」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

22頁 渡辺理恵さん 「6人家族」で仙台にお住まいとご紹介しましたが、義父母さんも一緒に「8人家族」で仙台市にお住まいです。

この生活がいつまで続くのか今の時点ではわかりませんが、今は震災発生から今までで良かった皆さんの恩を少しでも返していければという思いと、中学3年生になった息子の成長を楽しみに生きていきたいと思っています。

と思うと、浪江のことが恋しかったり、荒れ果てた家とかいろいろ複雑な思いがよぎってしまうんですね。

「お詫びと訂正」

連絡先一覧

- 浪江町役場二本松事務所
〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0123 FAX 0243-22-4261
- 二本松連絡所
〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目81
TEL 0243-62-0302 FAX 0243-23-7970
- 福島出張所
〒960-8601
福島県福島市五老内町3番1号
(福島市役所9階西側)
TEL 024-535-0750 FAX 024-535-0753
- 本宮出張所
〒969-1203
福島県本宮市白岩字堤崎494番地22
(本宮市役所白沢総合支所1階)
TEL 0243-44-1185・1186
FAX 0243-44-1187
- 桑折出張所
〒969-1611
福島県伊達郡桑折町字東大隅18番地
(桑折町役場2階)
TEL 024-582-2130 FAX 024-582-2135
- いわき出張所
〒970-8026
いわき市平字堂根町1番地の4
(いわき市文化センター2階第4会議室)
TEL 0246-24-0020 FAX 0246-24-0026
- 南相馬出張所
〒975-0039
南相馬市原町区青葉町2-62-2
(旧東北農政局福島農政事務所南相馬統計・情報センター)
TEL 0244-23-1112 FAX 0244-23-1114
- 浪江町議会事務局
〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0196 FAX 0243-22-4231
- 浪江町教育委員会
〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0301 FAX 0243-22-4223
- 浪江町社会福祉協議会
〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目81
(浪江町役場二本松第二事務所内)
TEL 0243-62-0877 FAX 0243-23-7970
- 仮設津島診療所
〒969-1404
二本松市油井字長谷堂230番地
TEL 0243-24-1431

町内モニタリングポスト測定結果

文部科学省で町内40箇所に設置したモニタリングポストの測定結果をお知らせします。なお、測定結果情報はホームページで閲覧できます。

* 文部科学省放射線モニタリング情報

URL <http://radioactivity.mext.go.jp/map/ja/>

問 文部科学省
原子力災害対策支援本部
TEL 03-5253-4111

(単位: $\mu\text{Sv/h}$)

測定地点	12/1	12/15	測定地点	12/1	12/15	測定地点	12/1	12/15
津島小学校	4.6	4.5	津島活性化センター	1.1	1.1	小野田集会所	2.5	2.5
津島中学校	2.0	2.0	昼曽根屯所	13.4	13.5	酒井集会所	3.5	3.4
浪江高等学校津島校	9.6	9.4	新町ふれあい広場	0.5	0.5	室原公民館	4.4	4.4
浪江(中央公園付近)	0.9	0.8	川添葉山会館	3.5	3.4	立野中多目的集会所	4.1	4.0
幾世橋(幾世橋小学校付近)	0.3	0.3	樋渡牛渡集会所	3.4	3.4	苅宿公民館	2.9	2.8
浪江ひまわり荘	2.7	2.7	高瀬多目的集会所	0.7	0.7	加倉集会所	2.8	2.8
手七郎集会所	8.6	8.6	幾世橋集会所	0.2	0.2	藤橋消防屯所	0.7	0.7
大柿簡易郵便局	12.0	12.6	浪江町公民館幾世橋分館	0.2	0.2	羽附集会所	0.8	0.6
家老集会所	8.4	8.7	北棚塩総合集会所	0.1	0.1	大字津島集会所	2.1	2.1
赤宇木集会所	8.6	8.7	棚塩集会所	0.1	0.1	南下コミュニティーセンター	6.5	5.9
大堀小学校	4.0	4.0	大字請戸集会所	0.08	0.08	葛久保集会所	10.3	9.7
苅野小学校	4.3	4.3	中上ノ原町営住宅	3.3	3.2	陶芸の杜おおぼり	13.7	13.5
浪江町役場	0.1	0.1	井手多目的研修センター	7.2	7.1			
小丸多目的集会所	23.9	24.6	田尻集会所	1.7	1.6			



発行・編集 福島県浪江町役場復興推進課

〒964-0984 福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-4731 FAX 0243-22-4218
<http://www.town.namie.fukushima.jp>